

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 文化的景観の保護推進

施策コード	060601
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	教育部 文化財保護課
関係課	農林水産課、都市計画課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第6節 景観
	施策	文化的景観の保護推進	

基本方針

- ・ 良好な景観が誇りとなり、地域の活性化へとつながるよう、保護、活用に努めるとともに、市民と行政が協働して、良好な歴史・文化的環境の保全に努め、文化的景観の保護を進めます。

現況と課題

- ・ 国宝慈眼院多宝塔・重文金堂など数多くの指定・登録文化財建造物や全国的に数少ない荘園遺跡である国史跡日根荘遺跡が存在し、地域の歴史・文化的景観の形成に寄与しています。
- ・ 国史跡日根荘遺跡は16か所に点在しているため、市民が活用しやすいための整備が十分に進められていない状況です。
- ・ 国史跡日根荘遺跡とそれに関連する地域の良好な景観を日根荘の文化的景観として、その保護を市民や関係者等と共に検討を進めています。
- ・ 文化財建造物等の所有者や国史跡の関係者のみの保護ではなく、地域や市が一体となって保護や活用に取り組む仕組みづくりが求められています。
- ・ 多彩な歴史・文化的景観を地域の活性化へつなげる手法の検討が求められています。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)

市民が歴史・文化に育まれた良好な景観に誇りを持っている。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	53.8						49.3
重要度 (偏差値)	37.9						36.6

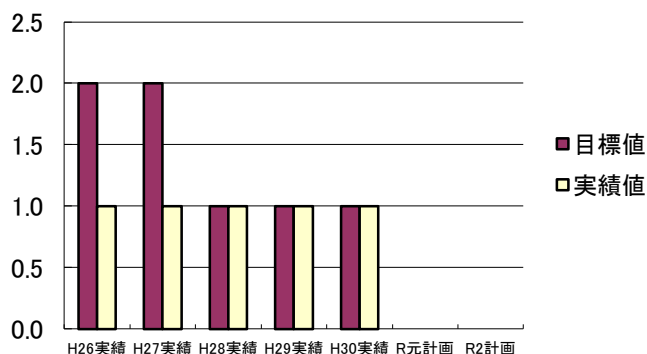
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	9,301	10,606				
	事業費		3,397	3,419				
	フルコスト		12,698	14,025				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		12,698	14,025				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	3,397	3,419						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1 歴史的・文化的景観の保護活用にかかる計画地区数 (累計)							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0		
実績値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
達成度	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
市内に所在する歴史的建造物や文化財に、良好な自然環境等を総合的に保全活用するためには計画策定が必要となる。計画を策定することによって積極的な景観を保全する施策が推進できる。		対象となる地区の持つ景観資源の確認、住民等の意向を把握しながら計画策定をする必要があるため、5年間で1カ所程度と設定し、それに合わせて単年度目標値を設定した。			前年・前々年から平成22年度を目処に計画策定を進めてきたことによる。平成30年度からは重要な構成要素について見直しを行ないつつ、追加を行った。		

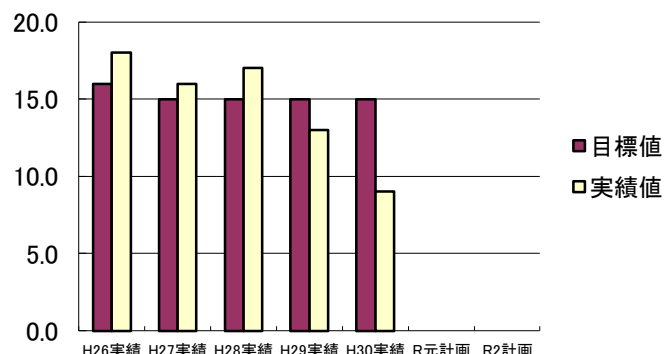
② 成果指標 2		文化的景観にかかる講座等の回数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	16.0	15.0	15.0	15.0	15.0		
実績値	18.0	16.0	17.0	13.0	9.0		
達成度	112.5	106.67	113.33	86.67	60.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化的景観にかかる講座等の回数が文化的景観の周知度に反映されると考えられるため。		講座等の実績により算出		様々な日根荘に関する普及事業を継続して行うことで、一定、その知名度を高めることが可能となっている。今後も継続して様々な手法を凝らした普及事業を実施していく。			

③ 成果指標 3		文化的景観にかかる講座等参加者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	3,600.0	3,700.0	2,700.0	2,700.0	2,700.0		
実績値	1,409.0	3,318.0	2,789.0	686.0	4,000.0		
達成度	39.14	89.68	103.3	25.41	148.15		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
史跡日根荘遺跡や文化的景観にかかる講座等普及事業の参加者数に実施効果が反映されると考えられるため。		過年度の実績にもとづき設定。28年度は27～28年度で継続している事業の27年度実績値をもとに目標値を設定した。		平成29年度は雨のため、閉園することが多かったコスモス園が、平成30年度はすべての日に開園をすることができ、大幅な入場者増となった。地元と一体となって住民参加型の普及事業を展開することで、地域の良さを遺跡について幅広く情報発信することができた。			

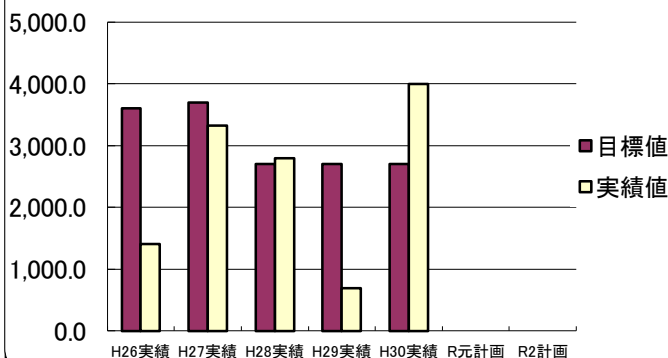
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	史跡日根荘遺跡とそれに関連する地域の文化的景観のうち、大木・土丸地区について調査・保存活用計画を策定し、平成24年度に大木地区について国重要文化的景観の選定申出を行い、平成25年度に大阪府内で初めてとなる国重要文化的景観として選定された。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	地域の歴史や文化・自然環境に対する関心は高く、市民アンケートによる満足度も一定の数値を得ている。これまで地域で受け継がれてきた史跡や文化的景観について、地域活性化へ役立てるとともに次の世代へ伝えていく方法の検討が求められている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	景観法や文化財保護法の改正による文化的景観の位置づけにより、各地で文化的景観や史跡をはじめとする文化遺産を地域活性化や観光振興へ活かす取り組みも広がっていることから、日根荘や文化的景観などの果たす役割が大きくなっている。
	合計点	(10点中) 8点	
総合評価	B	史跡日根荘遺跡と大木地区の文化的景観の保存と活用が、地域の活性化や泉佐野市のPRに果たす役割高まっており、今後の景観修景における市の施策は非常に期待されている。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	引き続き、地域との連携による景観保護に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	引き続き、地域との連携による景観保護に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業						
事務事業			H30年度決算額			一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業	10,606	3,419	3,419	A
合計			10,606	3,419	3,419	